

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2009-93229(P2009-93229A)

【公開日】平成21年4月30日 (2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2007-260361(P2007-260361)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/22 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月27日 (2010.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基本プログラムの機能を拡張する拡張プログラムの起動制限を行うプログラム制御装置であって、

指定された拡張プログラムの識別情報と、前記基本プログラムの構成情報とに基づいて、起動の対象となる対象プログラムを特定する特定手段と、

前記対象プログラムに含まれる、拡張プログラムの識別情報と構成情報との対応付け情報とを秘密鍵で暗号化した署名情報を、前記秘密鍵に対応する公開鍵で復号する復号手段と、

前記復号手段により復号された復号後の情報を、前記指定された拡張プログラムの識別情報および前記基本プログラムの構成情報と照合する照合手段と、

前記照合手段による照合の結果、一致した場合には前記対象プログラムを拡張プログラムとして実行可能な状態にし、一致しなかった場合には前記対象プログラムを実行可能としないよう制御する手段と

を備えることを特徴とするプログラム制御装置。

【請求項 2】

前記構成情報により、プログラムの仕向地が識別されることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム制御装置。

【請求項 3】

ひとつの記憶媒体に、同一の識別情報を示す複数の拡張プログラムが記憶されており、

前記特定手段は、前記複数の拡張プログラムが示す識別情報が指定された際に、当該識別情報と、前記基本プログラムの構成情報とを組み合わせた情報に対応する前記複数の拡張プログラムの中の拡張プログラムを、対象プログラムとして特定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のプログラム制御装置。

【請求項 4】

入力された許諾情報が正当であるか判定し、正当であれば前記対象プログラムを記憶手段にロードするロード手段を更に備え、

前記復号手段は、ロードされた前記対象プログラムに含まれる署名情報を復号し、

前記照合手段は、前記復号手段により復号された復号後の情報を、前記指定された拡張プログラムの識別情報および前記基本プログラムの構成情報と照合することを特徴とする

請求項 3 に記載のプログラム制御装置。

【請求項 5】

拡張プログラムにより機能拡張が可能であり、前記拡張プログラムの起動制限を行うための基本プログラムであって、

指定された拡張プログラムの識別情報と、前記基本プログラムの構成情報とに基づいて、起動の対象となる対象プログラムを特定する特定手段と、

前記対象プログラムに含まれる、拡張プログラムの識別情報と構成情報との対応付け情報とを秘密鍵で暗号化した署名情報を、前記秘密鍵に対応する公開鍵で復号する復号手段と、

前記復号手段により復号された復号後の情報を、前記指定された拡張プログラムの識別情報および前記基本プログラムの構成情報と照合する照合手段と、

前記照合手段による照合の結果、一致した場合には前記対象プログラムを拡張プログラムとして実行可能な状態にし、一致しなかった場合には前記対象プログラムを実行可能としないよう制御する手段と

してコンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 6】

基本プログラムの機能を拡張する拡張プログラムの起動制限をコンピュータにより行うプログラム制御方法であって、

指定された拡張プログラムの識別情報と、前記基本プログラムの構成情報とに基づいて、起動の対象となる対象プログラムを特定する特定工程と、

前記対象プログラムに含まれる、拡張プログラムの識別情報と構成情報との対応付け情報とを秘密鍵で暗号化した署名情報を、前記秘密鍵に対応する公開鍵で復号する復号工程と、

前記復号工程により復号された復号後の情報を、前記指定された拡張プログラムの識別情報および前記基本プログラムの構成情報と照合する照合工程と、

前記照合工程による照合の結果、一致した場合には前記対象プログラムを拡張プログラムとして実行可能な状態にし、一致しなかった場合には前記対象プログラムを実行可能としないよう制御する工程と

を有することを特徴とするプログラム制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために本発明は以下の構成を備える。すなわち、

基本プログラムの機能を拡張する拡張プログラムの起動制限を行うプログラム制御装置であって、

指定された拡張プログラムの識別情報と、前記基本プログラムの構成情報とに基づいて、起動の対象となる対象プログラムを特定する特定手段と、

前記対象プログラムに含まれる、拡張プログラムの識別情報と構成情報との対応付け情報とを秘密鍵で暗号化した署名情報を、前記秘密鍵に対応する公開鍵で復号する復号手段と、

前記復号手段により復号された復号後の情報を、前記指定された拡張プログラムの識別情報および前記基本プログラムの構成情報と照合する照合手段と、

前記照合手段による照合の結果、一致した場合には前記対象プログラムを拡張プログラムとして実行可能な状態にし、一致しなかった場合には前記対象プログラムを実行可能としないよう制御する手段とを備える。